

【彙報】（平成二十七年四月〜平成二十八年三月）

◎平成二十七年年度埼玉大学国語教育学会大会・総会
○平成二十七年十二月十二日（土） 於埼玉大学

◇研究発表

①「中島敦『過去帳』と不安」

橋本 翔平（埼玉大学大学院2年生）

②「『古譚』における『山月記』の位置づけ」

風間 萌（埼玉大学大学院2年生）

③「万葉集の景―植物を中心に―」

大橋優里香（埼玉大学大学院2年生）

④「源氏物語・末摘花考―醜女を描く意義―」

内山 茉莉（埼玉大学大学院2年生）

⑤「新古今和歌集の表現方法―庭園の景を中心に―」

中島 聡美（埼玉大学大学院2年生）

⑥「経書と金文の相関関係―『尚書』と盤器の銘文を中心として―」

権田 瞬一（埼玉大学大学院2年生）

◇講演

講演と対話「読み手の授業を考える」

講師・建石 哲男（川崎総合科学高等学校 教諭）

対話者・戸田 功（埼玉大学教授）、司会・山本 良（埼玉大学准教授）

◇総会

◎平成二十七年年度例会

○平成二十八年二月六日（土） 於埼玉大学

◇卒業研究発表

①「教科横断的な国語科学習指導の研究」

片平 莉加（埼玉大学4年生）

②「尾崎翠と（非正常心理）」

田崎 詩織（埼玉大学4年生）

◇研究会

「国語科教育における新聞を活用した学習の
実践研究」

橋本 柊平（埼玉大学4年生）

③「国語科教育における新聞を活用した学習の
実践研究」

橋本 柊平（埼玉大学4年生）

◇研究発表（修士論文構想発表）

大学院1年生（新井亮、佐藤祐里、杉山里奈、
早田ひろみ、藤倉遼介）

◇研究発表（修士論文発表）

①「坂上郎女の研究」

大橋優里香（埼玉大学大学院2年生）

②「新古今和歌集の幻想性」

中島 聡美（埼玉大学大学院2年生）

③「詩人と「古譚」―中島敦「古譚」論―」

風間 萌（埼玉大学大学院2年生）

④「『狼疾記』における不安―カフカ『巢穴』から
橋本 翔平（埼玉大学大学院2年生）

⑤「経書と金文の相関研究―『尚書』費誓篇と
兮甲盤」

権田 瞬一（埼玉大学大学院2年生）

⑥「源氏物語・末摘花考」

内山 茉莉（埼玉大学大学院2年生）

◇埼玉大学国語教育学会研究奨励賞授賞式

大塚 懂子「接客販売における「声掛け」に関
する一考察」

片平 莉加「教科横断的な国語科学習指導の研究」

関口 雄太「国語科における「戦争」を題材とし
た学習指導の研究」

田崎 詩織「尾崎翠と（非正常心理）」

西村 遥香「『落窪物語』の主題」

橋本 柊平「国語科教育における新聞を活用し
た学習の実践研究」

松本 千秋「伝え合う力を育む国語科学習指導
論の実践的研究」

◇長期研修教員報告会

「生きる力を育む国語科指導のあり方―言語活動
の軸となる読む力の育成」 平野 裕子

「読解力向上のための国語科学習指導法の研究―
文学的文章の指導を中心として」 松本 亜矢

◎平成二十七年年度修士論文・卒業論文題目

○修士論文題目
平成二十七年年度修士生（平成二十八年三月修了）
「坂上郎女の研究―姫百合の歌考―」 大橋優里香
「新古今和歌集の幻想性」 中島 聡美
―植物と定家和歌集観から―
「詩人と「古譚」―中島敦「古譚」論―」 風間 萌
「狼疾記」における不安―カフカ『巢穴』から― 橋本 翔平
「源氏物語・末摘花考―醜女を描く意義―」 内山 茉莉

○卒業論文題目
平成二十七年年度卒業生（平成二十八年三月卒業）
ジャズの高度化についての考察 小松 大和
小学校国語教育における自分の考えの形成を促す
学習指導に関する研究 安部 一成
星新一の目指した寓話 安藤 隼世
老年層と若年層の話し方の差異について 岩渕 雅代
―栃木県小山市の事例―

谷崎潤一郎作品におけるマゾヒズム

―「憎念」と「症例「狼男」」の比較分析を通して―

小學校国語科における言語活動を振り返る活動に

関する研究

接客販売における「声掛け」に関する一考察

―「どうぞ」の使用を中心に―

唐代伝奇小説研究

中国動物譚の研究―聊齋志異に見る狐―

教科横断的な国語科学習指導の研究

稲垣足穂『一千一秒物語』論―文学的絶縁とダダイズム

村上春樹文学における暴力

小學校国語科における民話教材研究

高等学校国語科における読解力育成に関する基礎的研究

発達段階を踏まえた言語活動の充実を図る授業実践研究―「話すこと・聞くこと」領域を中心に―

居場所支援事業における関わりの持つ意味

―NPO法人さいたまユースサポートネット―

国語科における「戦争」を題材とした学習指導の研究―「戦争」を学ぶ意義

馬娘婚姻譚の研究

安部公房の初期作品について

―『大』からみる安部公房―

相互理解を促す国語科学習指導の研究

―話し合い活動―

言語活動の充実を図る小學校国語科学習指導の研究

―言語活動を支える「書く力」の育成―

尾崎翠と（非正常心理）

―「新嫉妬価値」における（分心）と（語り）論―

児童の思考を深める国語科学習指導の研究

アクセントは他者に影響されるのか

『落窪物語』の主題―人物造型を通して―

『呂氏春秋』における政治観―自然と農事から―

国語科教育における新聞を活用した学習の実践研究

社会学的視点からの村上春樹考察

芥川龍之介「厩気楼」研究

デイズニー映画におけるジェンダー

―プリンセスの歌からの考察―

児童・幼児の書くことにおける特徴について

伝え合う力を育む国語科学習指導論の実践的研究

―話すこと・聞くことを中心に―

太宰治の（女語り）

女性作家における（母と娘）主題の文学作品についての考察

文学教育に関する基礎的研究―表現と理解について

『文法』の指導―

坂口安吾の日常性における問題

樋口一葉の描く「女性」

思考・判断・表現力を育てる国語科学習指導の研究

村上春樹の作品と心理学との関連

◎埼玉大学国語教育学会研究奨励賞

第十七回埼玉大学国語教育学会研究奨励賞受賞論文及び受賞者は、次の通りです。

「接客販売における「声掛け」に関する一考察」

大塚 瞳子

「教科横断的な国語科学習指導の研究」

片平 莉加

「国語科における「戦争」を題材とした学習指導の研究」

関口 雄太

「尾崎翠と（非正常心理）」

西村 詩織

「落窪物語」の主題」

西村 遥香

「国語科教育における新聞を活用した学習の実践研究」

橋本 松平

「伝え合う力を育む国語科学習指導論の実践的研究」

松本 千秋

編集後記

『埼玉大学国語教育論叢』第20号をお届けします。

本号には、単元学習について、講演の甲斐先生をはじめ、現職教員、大学の研究者から学生に至るまで、様々な執筆者が参加して充実した研究を掲載することができました。また、様々な領域の様々な会員（学外で活躍される研究者や本学の卒業生、新しく英文学を専門とされる研究者など）からの意欲的な論文が審査を経て多く掲載できたことは、非常に喜ばしいことです。

会員諸氏には、日ごろからの研究の成果を共有すべく遠慮なく投稿ください、充実した会誌になるよう、今後とも協力ください。